

株式会社アドバネット 海外市場戦略

海外市場開拓で確かな手応え 日本ブランドに対する信頼が強みに

欧州の展示会「Embedded World 2007」に初単独出展



栗原 和也氏

株式会社アドバネット
取締役社長 兼 COO

今回で第5回目を迎えた「Embedded World 2007」は、組み込み関連のハードウェア、開発ツール、ソフトウェアなどを集めた展示会で、この分野では世界でも有数の展示会として知られている。大型展示会場Nurnberg Messe GmbH Messezentrumの三つホールを使った2万3000㎡にも及ぶ会場には、今回欧州を中心に世界29カ国から合計590社が出展し、3日間の来場者数は約1万4000人にも及んだ。来場者のうち約7割がドイツ国内から、残りの3割は海外から訪れている。「出展している

アドバネットは、2007年2月13日～15日にドイツのニュルンベルグで開催された組み込み関連の展示会「Embedded World 2007」に出展した。同社独自の展示ブースを構えるのは今回が初めて。日本のメーカーであることを前面に打ち出した展示ブースには、品質を重視する日本企業の「ものづくり」に関心をもつ来場者が数多く訪れ、具体的な引き合いも相次いだと言う。約1年半前から海外市場をうかがってきた同社は、早くも市場獲得の手応えをつかんだ。

のは、産業用機器、交通関連システム、軍需など組み込み分野の本流に向けた事業を展開する企業がほとんど。非常に内容が濃いイベントです。欧州で開催される組み込み関連の展示会では随一と言えるでしょう（アドバネット取締役兼COOの栗原和也氏）。

今回、アドバネットは会場となった三つのホールのうち、ハードウェアを展示する企業を集めたホールにブースを設けた。展示ブースには、同社が手掛ける製品カテゴリを網羅するかたちで実際の製品を並べた。具体的には、Compact PCI Express対応のCPUボード、PoE（Power over Ethernet）モジュール、Power PC G4プロセッサ「MPC7447A」搭載のCPUボード、PCI Express対応のARCNETボードなど日本市場でも展開中の最新製品を中心に見せた。

同社が、今回展示した大きな狙いは



野口 真樹氏

株式会社アドバネットR&D
海外事業部
マーケティング&テクニカル担当

海外市場を開拓することだ。「2005年末ころから世界各地の市場動向を調査していました。この中で特にビジネスが拡がりそうな手応えを得られたのが欧州です。そこで前年は商社が出展したブースの一部を借りて製品を展示するのに留まっていたましたが、今回は本格



図1 Embedded World 2007のアドバネットブースの様子(商品を説明する同社取締役 R&Dセンター-新商品開発統括マネージャの難波秀文氏)

的なユーザー獲得に向けた事業展開の一環として単独のブースを出展することにしました(栗原氏)。

新機軸の製品が話題に

展示に対する来場者の反応は、同社の期待を上回るものだったと言う。「今回は1区画を使った小さな展示ブースでしたが、多くの来場者の方が立ち寄って製品を見て下さいました。引き合いも数多く頂戴しています(アドバネットR&D海外事業部マーケティング&テクニカル担当 野口真樹氏)。同社が展示した製品の中でも、特に来場者の関心が高かったのが、Compact PCI Express対応のCPUボード「A6EXP8021」である。

「ユーザーの方だけでなく、競合メーカーの技術者の方が入れ替わり立ち替わり見に来ていました(野口氏)。

同製品が多くの来場者の関心を集めたのは、同ボードの製品企画が新しかったからだ。「いまのところPCI Express搭載ボードは、携帯電話基地局向けのAMQ(Advanced Mezzanine Card)やCOM(Computer On Module)がほとんど。Compact PCIのフォームファクタを備えた制御システム向けボードは、まだめずらしいと思います。今回の展示をきっかけに具体的な引き合いもいただきました(アドバネット取締役R&Dセンター新商品開発統括マネージャの難波秀文氏)。

地場企業と積極的に連携

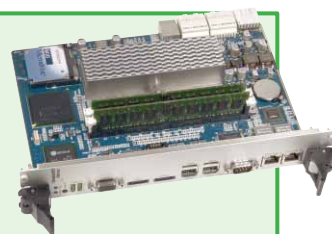
今回の出展を契機に同社は、欧州をはじめ北米などの海外市場獲得に向けた動きに拍車をかける考えだ。「海外市場においてはアドバネットは後発メーカー。日本では直接お客様に製品を販売していましたが、海外では現地で強力な販売網を築いているセールスレップと協力して市場開拓を進めます(栗原氏)。すでに、インターネットのホームページに掲載している製品ラインアップにアドバネット製品を加えているセールスレップは、欧州だけで6社~7

大手競合も注目したCompact PCI Express

Embedded World 2007で多くの来場者の注目を集めたCompact PCI Express対応CPUボードが、「A6EXP8021」(開発コード名「Calcite」)である(図A)。6Uサイズで米Intel社の「Core DuoプロセッサL2400(1.66GHz)」を搭載した同ボードが備える特長で注目すべきは、4レーンのPCI Expressインタフェースを4チャンネルも備えていることだ。「ルート・コンプレックスとして使用する場合、多くのインタフェースを備えている方が便利です」(アドバネット取締役R&Dセンター新商品開発統括マネージャの難波秀文氏)。このために同社はチップセットにIntel社のサーバー向けチップセット「E7520」を採用した。同社は、同ボードのプラットフォームを生かしたCOM Expressも開発中である。このほかPCI Express対応の最新製品としてARCNETコン

トロール・ボードも提供している。「Embedded World 2007の会場で引き合いが多かった製品の一つです」(難波氏)。

CPUボードでは、Freescale Semiconductor社のPowerPC G4プロセッサ「MPC7447A」を搭載したCompact PCI対応の「A6PCI7508」も提供している。Ethernetインタフェースや64ビット(クロック周波数33MHz)のPMCスロットをそれぞれ2チャンネル備えるなど豊富なインタフェースを搭載している。「MPC7447Aと完全ピン互換の最新プロセッサMPC7448を搭載したCPUボードも開発中です」(難波氏)。



図A Compact PCI Express対応CPUボード「A6EXP8021」

社に上る。

海外市場で同社製品を展開するうえで強みとなるのは、「Made in Japan」のブランドだ。「日本製品の品質や高品質を追究する日本メーカーの姿勢に良い印象を持っているユーザーは海外に数多くいらっしゃいます。実は、すでに海外のお客様から大口の注文をいただいています。このお客様は、アドバネットが開発から製造まで自社で手掛け、一貫した品質管理体制を構築していることを高く評価して下さいました(栗原氏)。今回設置した展示ブースでも、背景に茶道のお手前の画像を使うとともに、「from JAPAN」の文字を入れて、日本メーカーであることを強調している。実際、これを見て同社ブースで足を止める来場者が少なくなかった。「こうした来場者の多くが、日本メーカーと取引した経験などから日本製品の品質を高く評価している方々でした(野口氏)。

同社は、海外展開に備えてユーザー・サポート体制も着々と整備している。例えば製品マニュアルをはじめとする技術資料の英文化である。「もともと製品を使う際にお客様が悩むことがないように製品を設計するように心がけています。さらに技術資料を整備することによって、お客様のところの出向かなければ解決できないような問

題を最小限に抑えることができます。

日本市場における経験から判断すると、お客様から受ける質問の90%以上は電子メールなどを使って日本からの対応で解決できると思います(栗原氏)。

同社は、セールスレップを介した製品の販売だけでなく、現地企業とのアライアンスによる事業展開にも取り組む考えである。「産業分野ごとに有力な企業とアライアンスを組むことによって市場を広げる方針です(栗原氏)。組み込み用ボードを手掛ける日本メーカーの中で、積極的に海外市場に打って出ているメーカーは、まだ少ない。展示会の出展によって市場獲得の確かな手応えを得たアドバネットは、海外における事業展開にますます力が入るはずだ。今後の同社の動きは業界で大いに注目を集めるに違いない。

お問い合わせ先

 Advanet Inc.

株式会社アドバネット

<http://www.advanetco.jp>

本社営業部:

〒700-0951 岡山市田中616-4
tel 086-245-2861 fax 086-245-2860

東京支社 営業部:

〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-2
八ヤカワNo.3ビル3階
tel 03-5294-1731 fax 03-5294-1734
E-mail sales@advanet.co.jp